

「ベトナム・ミャンマーにおける日本の 排水処理技術普及のためのセミナー」 趣旨説明

平成25年12月20日
(大阪歴史博物館 講堂)

環境省 水・大気環境局 総務課
環境管理技術室長 中谷 育夫

○セミナー実施の趣旨について

目的等

- ・環境省が実施する『日本モデル環境対策技術等の国際展開』事業における、国内の環境関係産業のアジア展開に資する取組として開催。
- ・我が国の環境関係産業、研究機関等を対象に、アジア諸国の環境汚染の現状、法制度の整備状況、必要とされる排水処理技術等に関する情報や、先行する企業の経験、政府や自治体による支援などに関する情報の提供を目的としている。
- ・現地の状況を詳しく知るために、アジア諸国から政府職員などを講師として招へい。

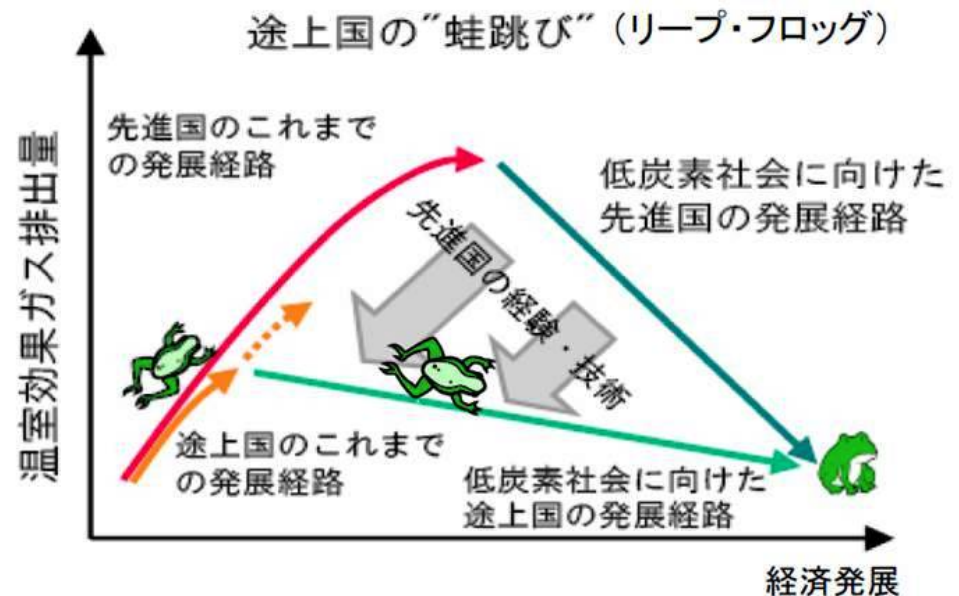
主催

- ・環境省
- ・関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラム
(フォーラム事務局:近畿経済産業局、(公財)地球環境センター)
- ・大阪商工会議所
- ・(一財) 関西環境管理技術センター【本セミナー事務局】

○事業の背景

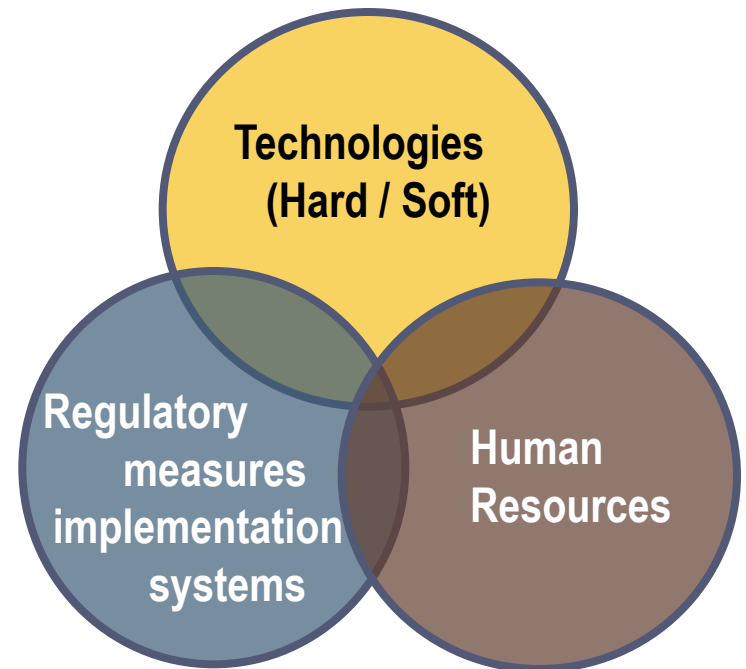
- ・「クリーンアジア・イニシアティブ」(Clean Asia Initiative ; CAI)
環境省では、平成20(2008)年6月、各国の歴史、伝統、文化に配慮しつつ、日本の経験・技術・組織・制度をパッケージとして移転することにより、アジア諸国が環境劣化を飛び越えて経済発展(リープ・フロッグ)することを目指す「CAI」を策定した。環境と共生しつつ、経済発展を図るアジアモデルの持続可能な社会構築をしていくこととしている。<<http://www.env.go.jp/earth/coop/coop/cai/about.html>>
本文<<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9811>>

- クリーンアジア・イニシアティブ
- アジア経済環境共同体構想の軸として
- 低炭素型&資源循環型のアジアモデル
- 環境と共生しつつ経済発展を図り、持続可能な社会を構築



・環境管理技術室では、平成21(2009)年から5年間の計画で、CAIの趣旨に基づき、その目標の一つの「低炭素社会・低公害型社会の実現」に係る具体的施策として、『日本モデル環境対策技術等の国際展開』事業を実施している。

・本事業は、我が国の公害克服経験をもとに、日本の優れた「環境対策・測定技術」を、「環境保全の規制体系の整備」、「人材育成」などとパッケージにして、アジア諸国に普及・展開を図ることを、基本的な考え方としている。
(パッケージド・ポリシー・アプローチ)



○「日本モデル環境対策技術等の国際展開」事業

<日本の現状>

- ◆現地事情に応じた技術カスタマイズが不十分
- ◆装置の売り切り型のビジネスモデル
→高い技術力を持つも、アジア諸国への市場開拓が不十分

<アジア諸国の現状>

- ◆規制・制度の執行体制、人材能力が不十分
- ◆技術の客観的な評価システムが未確立
→適正な環境対策技術の導入が進んでいない

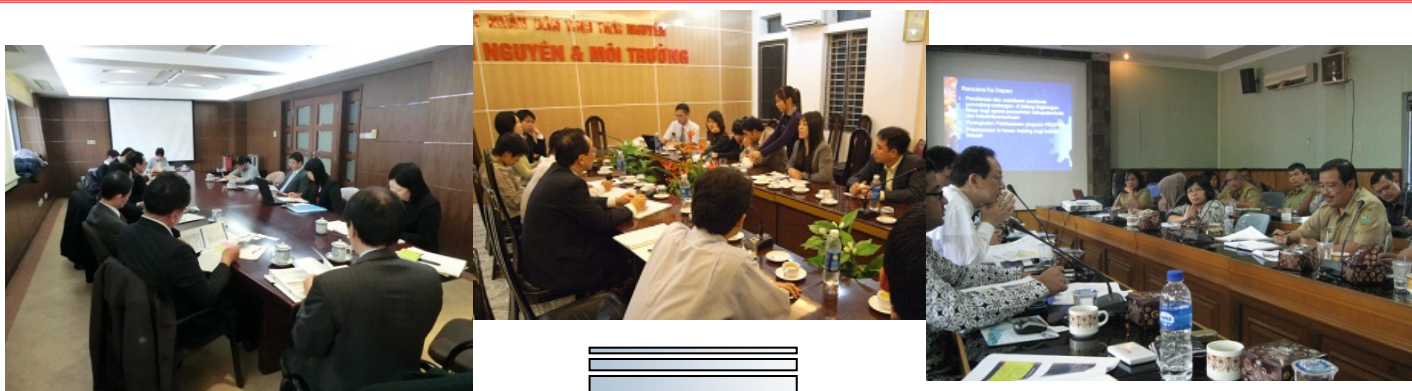
～官民一体で日本の「環境対策・測定技術」の普及・展開を「制度」の整備・「人材」の育成とのパッケージで推進～

日本企業等への
現地の技術ニーズ情報等の提供

技術導入、制度整備、
人材育成等の支援

事業の構成

- ①ベトナム、インドネシア、中国を対象とした、パッケージ施策による二国間協力事業の実施
- ②日本国内の環境関係産業、アジア各国への情報発信



施策の効果

<日本>

- アジアで日本の技術の優位性が評価
- アジア市場で日本の環境対策技術等の優位性が確保

<アジア諸国>

- 規制・制度の実施体制強化、環境管理能力の向上、環境上適正な対策技術の導入・普及

開催実績

○平成24(2012)年2月 大阪、川崎

「東アジアにおける日本の排水処理技術普及のためのセミナー」

- ・インドネシアにおける水質汚濁に係る法制度と技術ニーズ
- ・ベトナムにおける水質汚濁に係る法制度と技術ニーズ 等

○平成25(2013)年2月 大阪

「ベトナムにおける日本の排水処理技術普及のためのセミナー」

- ・ベトナムにおける水質汚濁の現状と求められる環境対策技術
- ・ベトナムにおける環境産業育成戦略と日本企業への期待 等

<本事業ウェブページに配布資料なども掲載

(<http://www.env.go.jp/air/tech/ine/asia/seminar/index.html>) >



国内企業への情報発信に係る取組

(最終更新日:2013年3月21日)

我が国の排水処理・モニタリング関係企業、研究機関等を対象として、アジア諸国の環境汚染の現状、必要とされる排水処理技術等に関する情報や、先行する企業の経験、市場の概観及び政府や自治体による支援等に関する情報を提供することを目的にセミナーを開催しています。

開催日時: 平成25年12月20日(水)12:45~16:30

開催場所: 大阪歴史博物館 講堂

<配付資料>



本日(今年度)の実施内容

平成25年12月20日(金) 12:45～16:30 大阪歴史博物館 講堂
「ベトナム・ミャンマーにおける日本の排水処理技術普及のためのセミナー」

■挨拶・趣旨説明 環境省 水・大気環境局総務課 環境管理技術室長 中谷 育夫

■講演Ⅰ「ベトナム繊維産業の環境問題 -機会と課題-」



ベトナム国営繊維・縫製グループ(VINATEX) 技術部 専門職 Nguyen Thanh Ngan

■講演Ⅱ「ミャンマーにおける水質汚濁に係る法規制と技術ニーズ」



ミャンマー環境保全森林省 環境保全局公害防止課 課長補佐 Kyi Kyi Myint

■講演Ⅲ「ミャンマーにおける排水処理技術の普及に向けた取組」



鈴木産業株式会社

代表取締役 鈴木 淳司

■質疑応答 コーディネーター (一財)関西環境管理技術センター常任参与 佐藤 健二